

学習の手引き

生活習慣や学習習慣の確立には、継続が何より大切です。この「学習の手引き」をもとに、家庭学習について、ご家庭で子どもさんと話し合ったり、ともに考えたりしてみてください。自分の子ども時代を思い出し、うまくいった勉強方法や失敗した経験を話していただくなど、それぞれのご家庭で無理のない取り組みの工夫をお願いします。

- 学習習慣が身につくように、励ましや見届けをお願いします。
- 子どものやる気を引き出すためにも、がんばりを認め、励ます言葉かけをしてあげてください。
- できれば、学習の開始時間を決めましょう。
- テレビを見たり、ゲームをしたりする時間について、家庭内での約束を決めましょう。

家庭学習の約束

早ね・早起き・朝ごはんといった毎日の規則正しい生活を土台として、家庭学習をきちんと行うなどの生活習慣を身につけていくことは、自分から学習に向き合う態度を身につける上で大切であると言われています。家庭での望ましい学習習慣の定着を図ることにより、子どもたちの基礎学力の向上をめざしたいと考えています。

- ① 毎日必ず学習する。(家庭学習の習慣化)
- ② 時間を意識し、集中して学習する。
(「テレビ×」「おやつ×」「会話×」などの約束を決めて)
- ③ 机の上をきれいに整とんし、正しい姿勢で学習する。

規則正しい生活を心がけましょう

～自ら学ぼうとする子をめざして～



家庭学習の目的

- 学校で学んだことを中心に、家庭で学習する習慣を身に付ける。
- 基礎学力の定着をはかり、次の学年につなげていく。
- 自ら学ぼうとする力を育み、自信を付けていく。
- 自主的に工夫して家庭学習に取り組み、学力を身に付ける。

生活の中で「学力」を高めよう！

- ①本をたくさん読もう！
- ②国語辞典・漢和辞典や図鑑を身近に置いて調べよう。
- ③日本地図や世界地図を身近に置いて調べよう。
- ④ニュースを見たり新聞を読んだりしよう。
- ⑤日記や作文を書く時は、習った漢字を必ず使おう。
- ⑥将棋・囲碁など頭を使うゲームをしよう。
- ⑦百人一首など詩歌を暗唱してみよう。
- ⑧自然や生き物とふれ合おう。
- ⑨家の仕事を手伝おう。
- ⑩おうちの人とたくさん語り合おう。



1・2年生【時間のめやす15～30分】 基本的な学習習慣を身に付けよう

- 国語**
- 音読 ・大きな声を出して、はっきりと教科書のお話を読む。
句読点に気をつけて練習する。
- 文字 ・書き順や文字の大きさに気をつけて、ひらがな、カタカナ、漢字を書く。
正しい姿勢で丁寧にゆっくり書き、正しい鉛筆の持ち方で書く。
- 日記 ・楽しかったことやうれしかったことを自分の言葉で絵日記や日記に書く。
- 算数**
- 計算 ・教科書やプリント、ドリルの問題を自分の力で解く。
速く、正しく計算できるようにする。
まちがった計算は必ず見直し、もう一度やり直す。

3・4年生【時間のめやす30～50分】 自主的な学習習慣を身に付けよう

- 国語**
- 音読 ・教科書を毎日音読する習慣を身に付け、文章を正確に読むことができるようにする。
- 漢字 ・とめ、はね、はらいに気をつけて丁寧な字を書くとともに、正しい書き順で正確に漢字を書く。
- 日記 ・段落に気をつけて思ったことや感じたことを入れて書く。
- 算数**
- 計算 ・ドリルを使って四則計算（ $+$ ・ $-$ ・ \times ・ \div ）の基礎・基本が身につくよう、ねばり強く計算練習をする。
- 文章題 ・重要な言葉に印をしたり、絵や図に表したりして、問題文を正しく読み取る練習をする。
- 自主学习**
- ・社会や理科などで学習したことについて、絵図を用いてまとめたり、調べたりして無理なく自由に行う。

5・6年生【時間のめやす50～90分】 自ら学ぶ学習習慣を身に付けよう

- 国語**
- 音読 ・教科書で学習した場面の様子や登場人物の気持ちを考えながら音読する。
- 漢字 ・新出漢字について部首、読み方、筆順、熟語を正確に書いて覚える。
漢字テストで間違った漢字を練習する。
- 日記 ・身近な出来事をテーマにして、作文や日記にまとめる。
- 算数**
- 計算 ・正確にできるまで計算ドリルを使って繰り返し練習をする。
- 応用題 ・新しく学習した内容の要点や公式をノートにまとめる。
- 自主学习**
- ・教科書の学習したところを自学ノートにまとめたり、図や表からわかったことを記入したりする。
・新聞記事やニュース記事を見て、社会情勢に興味をもち、感想を書く。
・地図や歴史人物について詳しく調べる。

中学1～3年生【時間のめやす90～120分】 計画を立て目標に向かって学習しよう 4点セット（白文帳、数学、英語、生活記録）

- 国語（白文帳）**
- ・指定された漢字を白文帳に1ページ練習する。（意味が分からない漢字や熟語は辞書を引く）
 - ・新聞コラムをノートに全文筆写し、感想を書き、難語句の意味を調べる。
- 数学**
- ・各学年の問題集を中心に1ページ取り組む。（計算過程をきちんと残し、分からなかった問題や間違った内容については解説を記入する）
 - ・計算問題を繰り返しノートに解き、完全に理解する。
- 英語**
- ・自分で決めた単元や文法事項、授業内容の復習などを1ページ行う。（単語や文を発音しながら書く）
 - ・ワークなどの問題は、授業のノートを見て、習った文法を確認しながら解く。
- 生活記録**
- ・日常の生活において、自分が感じたことや考えたことなど、自分の意見を記す。

家庭学習の内容

各学年の主な学習内容

- 【1年生の主な内容】**
- ・全てのひらがなが読めて書ける。
 - ・助詞（へ・を・は）を適切に使って文章が書ける。
 - ・80字の配当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
 - ・たし算・ひき算ができる。
 - ・時計を見て、何時何分かがわかる。

- 【2年生の主な内容】**
- ・全てのカタカナが読めて書ける。
 - ・160字の配当漢字がすべて読め、9割の漢字が書ける。
 - ・順序よく話をすることができる。
 - ・どの段の九九も正しく言える。
 - ・たし算・ひき算の筆算ができる。
 - ・時計を見て、何時間何分かがわかる。
 - ・ものさしを使って直線が正しく引ける。

- 【3年生の主な内容】**
- ・200字の配当漢字がすべて読め、8割の漢字が書ける。
 - ・ローマ字を適切に読むことができる。
 - ・主語と述語の意味が分かる。
 - ・国語辞典を使って言葉調べることができる。
 - ・あまりのあるわり算ができる。
 - ・3位数×2位数のかけ算ができる。
 - ・重さをはかり、表すことができる。
 - ・コンパスを使って図形がかけられる。
 - ・方位や主な地図記号がわかる。

- 【4年生の主な内容】**
- ・200字の配当漢字がすべて読め、8割の漢字が書ける。
 - ・ローマ字を適切に読み書きできる。
 - ・国語辞典・漢和辞典を正しく使える。
 - ・わり算の筆算ができる。
 - ・分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる。
 - ・小数×整数、小数÷整数の計算ができる。
 - ・コンパス・分度器・三角定規を使って図形が描ける。
 - ・地域の地理的環境や人々の生活の様子、47都道府県名が書け、その位置がわかる。

- 【5年生の主な内容】**
- ・185字の配当漢字のすべてが読め8割の漢字が書ける。
 - ・今まで習った漢字を使った熟語の8割が書ける。
 - ・段落のまとめを考えながら、指示語や接続語を使う。
 - ・小数のかけ算・わり算ができる。
 - ・分母が違う分数のたし算・ひき算ができる。
 - ・分数×整数、分数÷整数の計算ができる。
 - ・割合・百分率を使った問題ができる。
 - ・日本の国土における産業の様子がわかる。
 - ・日本の国で言葉やローマ字入力できる。

- 【6年生の主な内容】**
- ・小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。（6年181字）
 - ・小学校で習う漢字を使った熟語の8割が書ける。
 - ・自分の考えや主張を400字ほどの文章でまとめることができる。
 - ・古文・名文のいくつかを暗唱できる。
 - ・整数・小数・分数の四則計算ができる。
 - ・歴史上の事件や人物、政治とくらしのかかわりについてだいたいの説明ができる。
 - ・世界の主な国や6大陸と3海洋の名称と位置がわかる。
 - ・理科の基本的な原理法則がわかる。
 - ・パソコンで文章をローマ字入力できる。

- 【中学3年間の主な内容】**
- ・小学校の1005文字に加え、中学校配当漢字1130字の漢字が書ける。
 - ・古典に関する簡単な文章を書ける。
 - ・和語・漢語・外来語などの使い分け。
 - ・日本や世界の様々な地域に関心をもち、地理的認識を養う。
 - ・歴史の大きな流れを、各時代の特色を踏まえ理解する。
 - ・個人の尊厳と人権の尊重の意義を広い視野から正しく認識する。
 - ・数の平方根や二次方程式について理解する。
 - ・図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方定理について理解する。
 - ・図形について見通しをもって論理的に考察し表現する。
 - ・具体的な事象を調べることを通じて、関数について理解する。
 - ・物質やエネルギーに関する事象・現象に進んでかかわる。
 - ・物理現象、電流とその利用、運動とエネルギーについて理解する。
 - ・身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解する。
 - ・物質やエネルギーに関する事象・現象を調べる活動を行う。
 - ・生物とそれを取り巻く自然の事象・現象に進んでかかわる。
 - ・生物の生活と種類、生命の連続性などについて理解する。
 - ・大地の成り立ち、気象とその変化、地球と宇宙について理解する。
 - ・英語を聞いて話し手の意向などを理解する。
 - ・英語を用いて自分の考えなどを話すことができる。
 - ・英語を読むことに慣れ親しみ、書き手の意向などを理解できる。
 - ・英語を用いて自分の考えなどを書くことができる。

《中学卒業時にめざす子どもの姿》 **みやましい子**

- 自ら課題を見つけ、主体的に解決しようとする子ども
 - ・授業が受け身。自分で問題に気づいて、自分で解決していこうとする意欲が薄い。
- 自分の考えを、根拠を持って、聞いている人にわかるように説明しようとする子ども
 - ・なかなか自分の考えを持ってない。書けない子が多い。また、さらにそれをわかりやすく伝える点に課題を感じる。

学習の約束

話す姿勢・
聞く姿勢の
約束

<聞く>

- ・話し手の方を向いて、話し終わるまで黙って聞く。
- ・うなずいたり反応したりしながら聞く。
- ・話し終わるまで待って挙手をする。

友を大切にし、友とつながり合う話し合い

- ・ハンドサイン等の活用
「賛成」「反対」
- ・相手の意見に対して考えのよさを取り込みながら、自分の意見を述べる。

<話す>

- ・まっすぐ手を挙げ、指名されたら返事をする。
- ・体の向き、声の大きさ・速さ
- ・相手意識を持ってわかりやすく伝える。
 - ・わかりやすい構成
 - ・根拠をはっきりさせた意見の言い方
 - ・言葉の使い方

中1

- ・チャイムの5分前に首席。授業でやることを予習し、静かに待つ。気持ちを込めて声をそろえてあいさつ。

- ・根拠を明確にして、自分の思考過程を相手に伝えるように書く。

- ・自身の本時の追究と次時の追究の見通し（「どんな方法で、次回はどんなアプローチで追究するか）」についてのふりかえり
- ・自身の本時の追究（「どんな方法で）」についてのふりかえり

小5・6

- ・チャイムが鳴る前に学習の準備をして首席。気持ちを込めて声をそろえてあいさつ。

- ・根拠を明確にして、自分の追究過程を書く。

- ・「どんなことから」「何が」わかるようになったのかふりかえり

小3・4

- ・チャイムが鳴ったら首席。声をそろえて大きな声であいさつ。

- ・式・絵・図などを使い、理由をつけて自分の考えを書く。

- ・「何が」わかるようになったか、「何が」できるようになったかをふりかえり

小1・2

- ・先生の指示に従ってトイレを済ませ首席。教科書・ノート・筆箱の用意。大きな声で元気にあいさつ。

- ・絵・図を使ったり、具体物の操作を通したりして自分の考えをもつ（書く）。

- ・「わかった。できた」という喜びを感じるふりかえり。

時間・準備・あいさつの約束

考えを書く場面の約束

授業のふりかえりの約束

問題解決的な
授業スタイルの
約束

学習問題

- ・学習の見通し

学習課題

- ・課題の焦点化

個人追究

- ・必ず自分の考えを書き、はっきりさせる

共同追究

- ・「発表のし合い」に終わらない「話し合い」「学び合い」
- ※小グループや全体の場で自分の考えを出す

まとめ

- ・子どものことばで解決方法・学習問題の答えのまとめ

ふりかえり

- ・「できた。わかった」
- ・達成感がもてるふりかえり

全学年・全教科で「問題解決的なスタイル」で子ども主体の授業を実践する。